



飛 翔

目 次

新年のあいさつ……………P2	技士会で第三回緑・花文化の認定試験の試験官を勤める……………P8
社団法人 静岡県造園緑化協会 会長 西野勢作	
知事あいさつ……………P3	第十八回全国都市緑化いしかわフェア視察記 P9
静岡県知事 石川嘉延	大昭和住宅(株) 鈴木俊男・(有)丸福造園土木 望月 満・(株)庭明 高部 昇
新年のあいさつ……………P4	しずおか緑・花・祭を終えて……………P10
静岡県環境部長 栗原 謙	(有)松浦造園 松浦伊佐雄
第二回全体研修会を開催……………P5	我が社の自慢……………P11
農林業高等学校実習生受入れ……………P5~6	若者を育てる
高齢者雇用対策の取組みと課題……………P7~8	(有)伊豆植物園 山口義美
造園施工管理技士受験対策講習会開催……………P8	話題の森・お知らせ・編集後記……………P12



社団法人 静岡県造園緑化協会 会長 西野 勢作

あけましておめでとうございます。昨年は深刻な経済不況の中、炭疽病、狂牛病そして一連のテロ事件、アフガニスタン戦争と暗く緊迫した中にも年末に皇太子妃雅子さんと女子誕生の明るいニュースの年明けとなり皆様には格別の思いで新年をお迎えの事と思います。

幾度となく繰り返し放映されたアメリカの世界貿易センター崩壊の映像は世界の人々を愕然とさせ、いつどこで何が起こるか分らない無差別テロの見えない敵に世界が大変な社会不安を起しております。

昨年四月十七日に驚異的な支持率で小泉内閣が発足し、ほどなく一年に手のとどくところまで来ております。政治不信によって政治構造の改革を進めながら構造改革なくして景気回復なしと言う認識に基づいて聖域なき構造改革を断行しております。

この未曾有の不景気は、一層深刻なもの

なり企業の業績悪化による税収不足、そして失業率も過去最悪で5%を越える記録をするなど予断を許さない状況となつて来ました。日本だけでなく世界中に深刻なデフレーションのうねりが押しよせて来る感じがいたします。

公共工事は増々削減され高速道路も一時凍結、来年度の道路公団への国費投入全廃と言うところまで来ています。

私達業界も工事量の減少により節度のない過当競争の方向に迷い込む恐れがあります。決して糸の切れた舩にならない様一枚岩の認識をもち、協調し合う努力こそ企業の繁栄存続につながる一番の早道ではないかと思えます。日を追うごとに廃業、倒産の噂さが流れてまいりました。少子高齢化のすすむなかで管理工事など高齢者雇用促進、経済削減の理由で他へ流れている実情が見受けられますが今の社会情勢の中では止む

をえない面もあろうかと思えます。各々環境の異った地域の事情に合致した対応を計って行くしかないと思います。

パシフィックフローラ二〇〇四が二年後に迫つてまいりました、業界にとつてこの場において力量を存分に発揮出来る場所はないと思います。これから開催まで会場の整備や関連した色々の場所での整備があらうと思えます。会員の皆様には各々の立場で最大級の御協力をお願いする事になると思えます。静岡県上げての国際園芸博覧会をぜひみんなの心意気で大いに盛りあげ、この暗い不景気ムードを払拭させ経済活性化への呼び水としていただきたいと願っております。このイベントの成功、不成功は一重に私達の肩にかかっていると言う気概をもって重ねて御協力をお願いする次第です。今年は役員改選の年に当ります。このイベントを足がかりとして二十一世紀に相応しい社団法人としての新しい姿の協会へ生れ変わる転機だと思えます。会員の皆様方のますますの御繁栄を心から願ひ年頭の挨拶といたします。

知事あいさつ



静岡県知事 石川嘉延

可能性を上げ、未来を拓く静岡県

明けておめでとうございます。

皆様には、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、米国中枢への同時多発テロにより、全世界が震撼いたしました。世界経済への影響もさることながら、テロ行為に対する恐怖と世界平和の尊さを改めて認識させられました。まさに、21世紀の恒久平和を築く人類の英知が問われています。

一方、私たちの生活は、本格的な少子高齢社会の到来、環境問題の深刻化、経済のグローバル化の進展といった大きな課題に直面しており、従来の社会構造を時代が求める長寿社会、循環型社会、大交流社会に変革していくことが求められています。

こうした中で、私は、県民の皆様への安心、安全を確保するとともに、元氣な静岡県づくりを進めるため、一歩一歩着実に諸施策を推進してまいりました。静岡県は、これまで人づくり、環境保全、経済活動といったさまざまな面で全国の先進県として評価さ

れてきました。こうした成果を活かし、発展させるため、私は現実の課題に真正面から取り組むと同時に、中・長期的な視点に立った対応を図ることが重要と考え、現在、県づくりの指針となる新たな総合計画を策定いたしております。この総合計画には、皆様の意見とアイデアを広く反映させ、より一層「開かれた県政」の基本としていく考えであります。

本年6月には、エコパスタジアムで、2002年FIFAワールドカップが開催され、秋には、駿東郡長泉町（仮称）の開院を予定しております。また、豊かで活力ある静岡県づくりのために、活発な交流を支える社会資本を着実に整えるとともに、介護保健サービスや子育て支援の充実、男女共同参画社会の推進など、生活に密着した社会の仕組みづくり

に皆様と協働して取り組んでまいります。私は、常に県民の皆様の声に耳を傾け、共に考え、共に行動しながら、住む人も訪れる人も快適と感じ、世界水準の魅力があふれる「快適空間しずおか」の実現にまい進していく決意であります。

皆様のご理解と積極的なご参画をお願い申し上げますとともに、ご健康とご多幸を心からお祈りいたします。

平成十四年元旦

樹木余話

【トウワツジ(ツツジ科)】

皇太子(天武)十二月一日誕生した長女の名前が「愛子(あいこ)」。幼少時の呼び名である称号が「敬宮(とうしのみや)」と決まったと七日、午前行われた(命)名の儀の後、宮内庁から発表があった。身の回りの品に付けるお印(しるし)は「トウワツジと決められた皇太子(天武)の山、自然を愛されている気持ちが表れている。お印は、天皇や皇族方が、身の回りの品に名前代わりに付ける印章で、天皇陛下は「愛」の文字だが、皇后陛下は「シラカバ」(皇太子陛下は「あすさ」)、雅子様は「ハマナス」である。

ゴウワツジはシロヤシオともいう。葉が五枚輪生するところから付けられた名前で、幹の肌が松の肌に見ているので「ツツジ」もいわれる。

五月頃、新葉の下に純白の清楚な花をうつくまかげんに開く。県内では県民の姿をはじめ安宿川支流の山々、春野町岩屋山等(いくさ)に多くを群落を容易に見ることが出来る。



新年のあいさつ



静岡県環境部長 栗原 績

新年明けましておめでとうございます。

貴会の皆様には、日ごろから本県の環境緑化行政の推進に御協力をいただき、紙面をお借りして厚くお礼申し上げます。

環境問題への関心は年々高まり、ゴミ、生活排水など身近な生活環境の問題から、地球温暖化などの地球規模の問題まで幅広く論議され、環境効率率の高い経済社会への構造転換が求められているとともに、自然の持つ様々な機能が着目されており、

こうした中、国においては、環境への負荷の少ない持続的発展が可能な社会を実現していくために、循環型社会形成推進基本法を制定するとともに、森林の持つ国土や自然環境の保全、地球温暖化防止、レクリエーションなどの機能に対する国民の要請に因應するため、林業基本法を改正し、森林・林業基本法を制定いたしました。本県においても、平成九年に策定した環境基本計画を、計画策定後に生じた新たな問題や法の整備、県民の環境意識の高まり等を受

けて、本年度中に改定すべく取り組んでおります。

こうした仕組みに加え、環境問題を解決していくには、県民の皆様一人ひとりの自覚と行動の積み重ねが必要であることから、県民、事業者、NPOとの協働により「しずおか環境行動宣言」HOPPE」を策定し、県民総ぐるみの環境保全活動を展開しておりますので、貴会をはじめ関係団体の皆様の御協力をお願いいたします。

貴会におかれましては、今後とも、年々進歩し、多様化する緑化工事や施工管理技術に対応できる技術者の育成にこれまでと同様努められるとともに、県の環境緑化施策や平成一六年開催の「しずおか国際園芸博覧会」パシフィックフロア二〇〇四」等のイベントへの一層の御理解と御支援をお願い申し上げます。

結びに、貴会のみならずの御発展と会員の皆様の御健勝と御多幸を心からお祈りし、あいさついたします。

コマクサ

■コマクサ(フシ科)

本年は馬年。それにふさわしい植物といえはその名のとおり馴草であろう。ケシ科の高さ僅か15センチほどの多年草。細かく切れ込んだ白っぽい葉や和名のように面長の脚を思わせるピンク色の花がおもしろい。

高山植物の女王と称され、まさに高山の花での美しい姿に容易に接することはできない。その上、残念などに静岡県では富士山でも南アルプスでも見ることができない。

高山の中でも他の種をよせつけない、環境の厳しい砂礫地の中にたまた一種風に揺られて咲くコマクサ。

極限の環境に生育するコマクサにとりて地球温暖化の影響が心配される。一方では愛されるあまり、自生地を離れて増殖されるケースも多い。もと生育しやすい場所があるのにと思うのは人間の勝手。コマクサにとっては、その最適の環境であり、古里である。自然の保護のあり方を考えさせてくれる植物でもある。



第二回全体研修会を開催

十月十八日、午後、静岡市紺屋町のクーパーホール会館に於て、県土木部建設室の鈴木俊雄主幹、同じく技術指導室の渋谷明検査監、静岡県理事（国際園芸博覧会・ガーデンパーク担当）の三氏を講師に招き、本年度二回目の全体研修会を開催した。

研修に先立ち

西野会長が「景気の先行きが不透明で、公共事業の削減などから造園建設業界を取り巻く環境は以前にも増して厳しい状況です。しかし、この

ような時期だからこそ、法律を知り、適正な入札・契約、現場施工が望まれており、この研修会を開催しました。今日の研



鈴木講師



渋谷講師

修を明日からの仕事に生かしていただきたい。また、平成16年には園芸博覧会

も控えており、今まで以上に全員が一致団結し、協力して「いこう」といさつ。

研修会では、まず鈴木主幹から「公共工事の入札・契約の適正化につ



吉岡講師

いて」と題して、国、特殊法人等及び地方公共団体が行う公共工事の入札・契約の適正化を促進し、公共工事に対する国民の信頼の確保と建設業の健全な発展を図るため制定された「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」の概要について説明があった。発注者側の義務、受注者側の責務等色々な問題を含んでいるので会員は熟知して問題を惹起しないようにしてほしい。

次に渋谷明検査監からは「工事現場における適正な施工体制について」という内容で、主に受注者側の「現場における監理技術者・主任技術者の専任制等の説明があった。最後は吉岡徹郎理事の「し



熱心に受講する会員

すおか国際園芸博覧会とこれから」と題した講演で研修会を終了。講演の中では工事現場の映像等も写し出され、博覧会に対する出展のお願いもあった。

※この要請に対し、早速、会員二社からブリスの申し込みがありましたと園芸博覧会協会からお礼の電話がありました。

農林業高等学校実習生受入れ

本年度も農業高等学校の環境系の実習生を会員が受け入れた。本年から天竜林業高等学校も仲間入りし、静岡農業高等学校、磐田農業高等学校の三校となった。

静岡農業高等学校は九月四日から四日間、環境科学科一年生二十四名を静岡、清水、焼津地区会員十六社が、磐田農業高等学校は九月十七日から五日間、環境科学科二年生十八名を八社が、天竜林業高等学校は六月五日から四日間、環境システム科三年生二十名を会員外も含めて八社が受け入れ、それぞれ実習の指導を行った。各校から生徒の感想文を寄稿いただきました。

初めての体験学習

静岡農業高等学校 内藤美樹

最初は、初めての造園の体験で、除草やそうじ以外やった事がなかったため、難しい事をするのかと思って緊張していました。そして、初めて木を刈り込みバサミで切るのをやりました。木の形を整えるのは難しいと思っていました。刈り込みバサミの使い方は簡単にできましたが、なれるまで大変でした。木をバサンス良く切り終わるように、自分で切り終わった後、イメージしながら切りました。木もバサンス良く切れたと思います。四日間の現場

実習で、除草や剪定やそうじだけやるのかと思ったら、芝張りもできて楽しかったです。木の枝を運ぶのに、重い枝をたくさん運んだら、力がついたと思います。四日間、造園の体験ができて良かったです。

現場実習で感じたこと

静岡農業高等学校 朝比奈雄大

九月十七日から九月二十一日までの五日間学校へ行かないで葵井市田町にある八ヶ代造園で現場実習を行ってきました。自分はバイトもした事がなかったため本格的な仕事をするのは初めてで緊張の反面ワクワクした部分もありました。

朝は現場に七時十分に行きました。そして着替えて会社の人々の説明を聞きました。話をしてくれた人はかなり優しく、な人だったので安心しました。そして自分の現場先は大久保グラウンドに決定しました。そこはジエロ磐田の練習場でもありラックキョー田舎の練習場でもあります。まず与えられた仕事は大きな木の周りに肥料を撒く事です。内容的には簡単ですが腰が痛くなり初日から大変でした。二日は朝の朝礼にも参加し

ました。学校の朝礼とは違いと



初めての運転

お金をもらって働くということとはとても大変と分かりました。今まで親などにもお金を稼いだことがなかったけれど、お金を稼いだのがどれだけ大変か分かったのが無駄なものかに使わずに大切にそして感謝の気持ちを持ちたいです。そして来年に迫っている進路決定に役立てるようにこの経験を生かしていきたいです。

最後に、この忙しい中自分を実習に参加させていただきありがとうございます。また何かありましたらよろしくお願ひします。

インターンシップを終えて

天竜林業高等学校 早津 徹

私は浜松市高塚町の啓明さんと同じクラスの高嶋康明君と一緒にインターンシップでお世話になりました。

いろいろな仕事をするというよ、見せて頂きながら手伝いさせて頂くかたちでのインターンシップだったように思います。

幾つかの仕事の中で思い出に残るのは、浜松市船山寺町の大型クレールホテル花乃井での大型クレインを使つての植え込み作業でした。造園会社でのインターンシップと学校では説明を繰り返して聞かされていたので、まさか土木工事に使うような20トン級のクレーンが植え込み作業現場に運び込

まれて来るとは予想もしてなかったので正直なところ驚きました。

レイクホテル花乃井のプールサイドに植え込むシロビロは当然大型トラックに積まれて来ましたが、作業の手順がうまうまできていのに

は感心しました。穴掘り作業には心がけ、根の回りの空気の流れをよくするためのパイプの埋設、土壌改良剤の投入していました。

それが終われば、吊り上げられたシロビロが上から下ってきて植え込みが始まるという具合でそれぞれの仕事がつながっていき、またこうした決められた作業を決められた時間内におさめる仕事ぶりには本当に感心しました。

私の通っている学校では溶接技術、小型建設機械操作技術をはじめ製図関係のレタリングやトレースの技術、危険物の取扱い資格などのいくつもの資格取得ができるように授業が組まれています。こうした資格が少しずつ生かされて仕事ができるのだと実感しました。

わずかな日数でしたが、インターンシップで得たことはたくさんありました。残り少ない高校生活ですが将来に向けて役立つよう勉強をしっかりとやらなくてはと思います。

初めての刈り込み作業



初めての刈り込み作業

高齢者雇用対策への 取り組みと課題

国を上げて景気対策、雇用対策に取り組んでいるが、九月十一日の米国の同時多発テロ事件の発生、アフガニスタン戦争の勃発、炭疽菌事件と世相を暗くすることはかりで悪くなりこそすれ、いこうと良くならない景気と雇用。協会も雇用対策の一端である高齢者雇用促進のための講習会を委託事業で実施している。いろいろな公益法人の資質が問われている。現在、県の監査でこれこそ真の公益法人の事業であると講評される一方で、会員のなかには、協会が実施している講習が商売敵を養成しているようなものだとの反対論もある。そこで、この問題に対する取り組み状況を報告したい。

造園緑化講習の実施

—技術委員会—

リストラによる離職や定年退職者の雇用促進のため、連合岡県シルバー人材センター、協会（深美金一郎会長）が厚生労働省から委託を受けて「造園緑化」「建築リフォーム」「ビルメンテナン」「建築塗装」など色々な技能講習を開催しているなかで、「造園緑化コース」を協会が受託し、技術委員会で実施してきた。

義など自己研鑽にもなつたと講習会が終了すると最寄りの職業安定所主催による就職希望者と求人希望の会員の面接会があるが、造園業界も他の業界同様厳しい環境にあり、採用希望会員はほとんどないのが実情である。

講習会が終了すると最寄りの職業安定所主催による就職希望者と求人希望の会員の面接会があるが、造園業界も他の業界同様厳しい環境にあり、採用希望会員はほとんどないのが実情である。

公共緑地の 維持管理業務の実態把握

—総務企画委員会—

受講生のうち趣味で受講する者は別として、就職を希望する者は会社にはなかなか就職できないので、結果として地元のシルバー人材センターへメンバー登録して活躍することになる。それが我々の仕事を奪っていくといわれる由縁である。

発注者側の県や市町村も高齢者の雇用促進、経費節減の必要性にせまられ、軽作業の発注はシルバー人材センターへ流れる傾向にある。

六月十三日に本年度二回目の総務企画委員会を開催し、シルバー人材センター業務との関

係で公共緑地の維持管理の実情把握の方法、内容等について協議を行った。

その結果、様式は定めれないが聞き取り方式で最近三ヶ年の発注方式、発注先、発注業務内容等について総務企画委員が八月末日まで実情把握を実施する。総務企画委員で足りない場合は必要に応じて支部長が調査員を増員して行う。

一方、全員も最近、管理業務がどれだけ減少したか、それにより、どれだけ従業員をリストラしなければならなくなつたか等についても把握することに決定した。

公共緑地管理業務の実態と今後の対応策

—総務企画委員会—

九月十三日に、総務企画委員以外の調査に従事したメンバーも加わり、各支部長からの報告をもとに今後の対応策について熱心に議論を交わした。

シルバー人材センターへの発注状況は東高西低で、東部地区の自治体で多くなつており、その分プロである会員の受注

量が減少している。いずれ、我々も高齢者の仲間入りをするので理解はできるが、業者にとつては死活問題である。等々さまざまな意見が出されたが、理事、顧問会議を開いて結論を出そうということになった。

当日の意見には次のようなものがあった。

○シルバーセンターの事務局は市役所、町村役場の敷地内にあつたり、幹部はそのOB。我々零細企業は同じ十区での競争では太刀打ちできない。

○税もかからないようになっていいる。そこで働くシルバーの皆さんも課税されない程度に働いている。労災保険にも加入してはと聞いています。我々は会社も従業員も税を払っている。

○シルバーの皆さんは仕事がないが、我々の従業員は仕事がないと失業者になつてカウントされていく。このようなどとも今の失業率を押し上げていっている一因ではないか。

○我々は百万円、二百万円程度小さな仕事でも厳しい入札

があるのに、シルバーには数千
万円の仕事を簡単に発注さ
れるのは理解できない。

○我々は厳しい経営審査、点
数制があるのに、積算もで
きない、現場管理、工程管理
もできないシルバーへなぜ仕
事が発注できるのか。

○業務完了後の成績、イヴェント
に間にあうような工程管理
等、アロとしてきちっと仕事を
やれば仕事はもどってくる。

○我々は建設業の許可をとっ
ている。それが必要な業務
がシルバーへ発注されている
とすると問題である。

○我々もいずれシルバーの仲間
入りをする。対峙するのだ
なく、除草、草刈り等軽作
業はシルバーを雇用するとい
う条件で全体をまかせて
もらうような仕組みを要請
すべきである。

○プロの会員が素人と同じよ
うな仕事をやってはいない
か、等々。

役員会、顧問の先生方との 懇談会開催

総務企画委員会を受けて十

月十一日には役員会、引き続
いて顧問の先生方との懇談会
を開催した。

いろいろな問題点、現地の
窮状は総務企画委員会の議論
を承認する形となったが、い
ずれ、みんな命を重くしていく、
高齢者の生き甲斐も提供しな
がら共存共栄を願っているか
なければならぬ。

多忙な時は断ってきたのに
除草や草刈りのような軽作業
まで我々の仕事であると思っ
てきたのではないか。

市町村によっては、我々の
要望によって知識、技術を要
する業務はもどってきている。
自分達が努力を怠ってきたの
ではなかいか。ある町では公立
学校等が素人の管理で何のた
めに緑化したのか理解できな
い剪定・整姿がくりかえされ
すべてプロの我々にもどって
きた例もある。

結論として各方面への要望
活動のための要望書(案)も
策定していたが、とりあえず
顧問の先生方の妙案を待つこ
ととなった。

造園施工管理技士受験 対策講習会開催

静岡県造園施工管理技士会

本年も七月三十日、三十一
日の二日間にわたって、JR東静岡
駅前のグランシップで受験対
策講習会を実施した。

受講生は一級十四名、二級
十七名。

講師陣は、静岡県造園施工
管理技士会の常任理事で、
造園管理・設計図書

……小林召二副会長

造園材料

……源平太常任理事

造園計画・設計・植栽



熱心に受講する受講生

……望月敦彦副会長
造園施設

……鈴木俊男常任理事

測量・機械施工・受験要領

……乗松文男会長

施工監理と施工各論

……水野豊常任理事

がそれぞれ担当した。

すでに二級は最終合格者の
発表があり、一級は学科試験
合格者に対する実地試験が十
二月にあり、最終合格者の発
表は来年二月十三日に行われ
る。全員合格を旨として行っ
た受験対策講習会だが果して
何名合格してくれるか。

技士会で第三回 緑・花文化の知識認 定試験官を勤める

十一月十八日の日曜日、国土
交通省の外郭団体である「公
園緑地管理財団」の行う「緑・
花文化の知識認定試験」が静
岡県立大学で実施され、その
試験官を静岡県造園施工管理
技士会が勤めた。

本年は試験会場の一教室当
たりの収容人数が多かったこ



試験開始前の説明を行なう安本理事

ともあって試験官は三名で済
み、中部地区の望月敦彦副会
長、佐野真之理事、安本昌弘理
事の三人がこの任に当たった。

この試験は、植物の知識と
植物の文化について楽しく学
ぶきっかけになることを目指し
て始められたもので、出題は
①科学と植物、②環境と植物、
③生活文化と植物、④芸術文
化と植物の四分野から八十問。
回答時間は一時間であるから
択一式とはいえない。

ちなみに本年の全国の受験
申込者は一〇、一四〇名で静岡
会場は三三三名であった。

第十八回全国都市緑化 いしかわフェア視察記

九月八日から十一月十一日まで金沢城址公園で開催されていた第十八回全国都市緑化フェアを協会と技士会共催で視察を行った。参加者は貸切バス定員に少し余裕のある二十七名。泊二日の研修旅行は夜は各支部対抗の演奏会も披露され、おおいに盛り上がり、親交を深めることもできた。

十一日に閉幕したの都市緑化フェアは予想超す二二六万人の入場者も好評であったという。会期がらみにお花・花祭の二倍、入場者も一倍ということになる。会期がらみにお花・花祭の二倍、入場者も一倍ということになる。会期がらみにお花・花祭の二倍、入場者も一倍ということになる。

高い作品レベル

大昭和住宅(株) 鈴木俊男

紅葉の季節にはまだ少し早いなど思われる十月下旬、県選園施工管理技士会西部支部の方々の計画による全国都市緑化いしかわフェア研修旅行に参加した。いしかわフェアは、本行を参加させていただき、また、石川川と郡上八幡、白川郷の車窓に白山スノーライン道が抜け、金沢に入る道程は、山岳の紅葉も盛りになり、進まずに山々の動き、日頃向かって進まずに山々の動き、日頃味わうことのない山河の深さと自然を十分に堪能した後の会場入りとなり、皆んなの目も肥えて、良好な視察眼を持った研修になったと思う。

石川川と郡上八幡、白川郷の車窓に白山スノーライン道が抜け、金沢に入る道程は、山岳の紅葉も盛りになり、進まずに山々の動き、日頃味わうことのない山河の深さと自然を十分に堪能した後の会場入りとなり、皆んなの目も肥えて、良好な視察眼を持った研修になったと思う。石川川と郡上八幡、白川郷の車窓に白山スノーライン道が抜け、金沢に入る道程は、山岳の紅葉も盛りになり、進まずに山々の動き、日頃味わうことのない山河の深さと自然を十分に堪能した後の会場入りとなり、皆んなの目も肥えて、良好な視察眼を持った研修になったと思う。



「融&遊」グループ21

デジンの3地区に分けられ、それぞれテーマに添った作品展示がなされました。どうしてもしずおか緑・花祭と比べてしまいますが、地形の事情も有るでしょうが、あまりにも直線的な装設区割には工夫が見られない。曲線道路の要所所にポイントという感覚を持たせ、リズム感さえあつた。細部の静かなポイント配置を思えば、内浄の展示作品を閉じ込めて

しまい、花・緑を楽しむ見学者の気分には重々といふまでもなく、個々の作品レベルは高く、庭の構成も各々の造園家が長年自分の手で暖めて来たイメージを表現したと思われ、作品が多かった。佐渡石、亀甲石、那智石等の石材や庭木も一つが十分吟味した力の入った物が使われており、見たえりの作品となっていた。また、ライオンデニッシュには、洋風化していき生活用式に合わせ、木箱、ベンチやベンチ等新しい作庭グッズが数多く見られ、興味深く観賞した。

数多く観賞した。小さなブリスではあつたが住友林業緑化(株)の出品作品ヒールリングガーデンに強心を引かれるものがあり、自然林を背景とした流れに使用された小さな自然石が初めて見るもので、産地を聞いたが企業秘密とかで、主催者にも教えにくれないとのことでもしろうかつた。

まだまだ色々な物を見たはずだが、宴会席での盛り上がりが強烈で、久しぶりに腹をかかえて秀た染いし研修をありがたうと思いました。

マンネリ化の打破に役立っ (有)丸福造園土木 望月 満

造園緑化協会の会員となり二テ所日緑花祭
しずおか緑・花祭でのボラン
ティア(ガーデンアドバイザー)に就き「いしかわ都市緑化フェア」の視察研修旅行に参加させて頂きました。今回は「ガイド」という重責もなかく気楽に見学することが出来ました。

いしかわ都市緑化フェアを観て
(株)証明 高部 昇

会場となった金沢城址のなつづみは、なんともいえないものがあり、歴史・文化、時代の流れというものを感しながら会場をまわりました。展示もその異民族性・地域性が出ていて興味深く楽しんでみて貰うことが出来ました。

いしかわ都市緑化フェアを観て
(株)証明 高部 昇

会場となった金沢城址のなつづみは、なんともいえないものがあり、歴史・文化、時代の流れというものを感しながら会場をまわりました。展示もその異民族性・地域性が出ていて興味深く楽しんでみて貰うことが出来ました。



「自然の流れと潤いの里」



「溪流～枯山水～」(有)立花造園

全体的にみて感じたことはその借景のすばらしさ、重要性です。金沢城は、城自体がひとつの森であり、芸術品ともいえる空間の中で、いかに借景の景色と融合し、調和させるかが大切かという事を感じました。

ただ、城自体の存在が全体的に落ちついた雰囲気を出しているのに対して、華やかな彩りには、見方によっては浮わつた軽いのに見えてしまうのも事実です。ラテン系のうらに岩むした石積をみて、その感じたのは自分だけではないと思えます。あらためてラテンの影響と云うものも考えさせられました。

さて、二〇〇四年の園芸博の会場となる浜名湖を考えるとどうでしょう。伝統文化の香りと程よいロケーションで、借景と呼べるべきものもあまり期待できません。しかし、私たちは、真白なキャンパスに松を植く様に、自由な発想、自由な趣向であらゆる可能性を広げることが出来る。それをプラチナに考え、節回らしい伸び伸びとした園芸博に出来たらと、あらためて思いました。

しずおか緑・花・祭を終えて

(有)松浦造園 松浦伊佐雄

三十七日の開催期間中、しずおか緑祭へ訪れて下さった

60万人の方々が、出会い・感動・喜び・すばらしい思い出を持って帰って下さいました。この様に大勢の入場者のあることを、私共はどれだけ予測していたでしょうか。交通渋滞・トイレの長い列。予想外の事態に関係スタッフの皆様には大変な苦勞をされたと共に、活躍の場でもあった事と思います。

まず開催前の準備段階では、自然条件の厳しい大井川河口西側の工事の中で、石組み・植栽工事・草花植え付けなどの工期・工程等、様々な苦勞の中でも協力しあい作業を進められました。私自身も、車の故障によるモーターズの手配、休日を押しでの工事作業中の怪我人を病院へ搬送、人足の相談、工事用機械や材料の手配など様々な相談を受け、共に解決して頂きました。日々が慌ただしく過ぎていく中、「助かります。ありがとうございます」というその一言で心

が癒されました。

ワールドガーデンコンベンション出展の準備中、参加していた二十代前半の女性が「費用はアルバイトで稼ぎました。最初は友達との又友達の家泊りでもらっていましたが、そんなに幾日もお願いできないから、今日からは車の中で寝泊まりしながら作庭するんです」と、苦勞話を目を輝かせながら話してくれました。とても頑張り屋の彼女に爽やかな感動を覚えました。その後、彼女は、入賞されましたが、その喜びは苦勞した分格別の物があるようでした。また、遠方より出展した方の植栽木が強風にあって倒れ倒れしてしまうこともあり、他人事とは思えず、支柱材の協力をさせて頂きました。が大変助かりました。ありがとう「至らないところがあれば、ごめんなさい。」そんな言葉のやり取りの中で、助け合うことの大切さを再確認しました。開催期間中、草花の管理において地元業者の責任は非常に重



野生の味わい、林の中に住まう

大なものでした。早朝二時あるいは四時から開園、午前九時までの灌水作業。五月の早朝はまだ水が冷たく、思うように動かない指先で、真・暗な中を車のライトを頼りに作業を進めます。ようやく辺りが明るくなって、テナントの人々も開店準備にやってきました。九時に開場のアナウンスが流れ、「さあ、これから忙しい一日が始まるのだ。」と気持ちを引き締まる思いです。開催中は、花がら摘みに大忙し。これも又大変な作業です。それに加え、入場者の方々からの質問攻め、的確に答えられずに困ったり、質問されているのに忙しみのあまり顔を

そちらに向けないで返事をしていた怒られたりと、いやはや一日中気の休まる暇もありません。それにしても、人、人、又、人。もうこんな度は大勢の人は見たくないと何度思ったことか。今となってはそれも笑い話です。ようやく五時をまわり、人々が去った後は、又灌水です。それでも夜の灌水はまだ気持ちがあるのですから。様々な作業の中でもっとも頭を悩ませたのは灌水作業でした。給水設備はありました。が、一斉に使用するため水圧が下がり水量不足になってしまふ為、急遽大池にポンプを二台設置し灌水する程でした。日数が経過するに従って花々が美しく咲き乱れ、入場者の方々も口々に奇麗だと大喜び。次々と追加される花も見事に咲き、作業の一端を担う私も喜びで一杯でした。そんな喜びもつかの間、それが恐怖にさえ感じられる出来事が起こったのです。それは水不足でした。花が植え付け時よりも数倍生長し灌水が間に合わなくなつた為、花のしおれが指摘されたのです。雨も降りません。作業人数を増やしても先に述べたように出水量には限りがあります。空を眺めれば雨が降ることを祈る毎日でした。そして念願の雨です。「雨が降った。やれやれこれで一安心した所へ、またもや一大事。排水設備が十分に機能せず、園路に水が溢れてしまったのです。水中ポンプなどで追いつかず、防災用の大型排水ポンプでなんとかその場を凌ぎました。

我が社の自慢

若者を育てる

(有)伊豆植物園 山口義美

昭和四十五年には私は会社を設立しました。四十九年に造園技師となり、一層はずみを付けて造園の仕事に磨きをかけ、職業訓練指導員の資格も取りました。それ以来後継者養成に力を入れるようになりました。

初めは地元から十六才男子、次の年にも十六才男子、即ち中

学校卒業生です。初めは鉄などの道具の使い方、ひもの結び方など、基本的なことから細かく教えました。初めの社員は覚えが早く、二級造園技師を取得し、八年目には独立。若いのでお客さんが信用してくれず、私が現場へ顔を出したりしてやっております。今では立派になっております。

牧場の2人



次は高等学校卒業の社員を入れようと思ひ、知人の紹介で新潟県まで出向きました。水原高校を訪ね一人の男子を見つけました。九人兄弟の末子で造園の仕事をしてみたいとの事で入社しました。とても喜びました。初めは自動車の免許を取らせ、芝の張り方、狭で枝切りなどから教えました。静岡岡農業高等学校で造園の全国大会が開催された際、協会でも協力してくれて、名簿

を頂き、青森県弘前高校に目を付け、求人表を送りました。五日目には申込があり、静岡生まれとのことで、次の春に入社してくれました。造園科で詳しく教える事もなく、とても楽でした。バレー部キャプテンで動きが早く、見た目もよく仕事が出来るといふようになりました。

新潟十日町の実業高校からは、

南雲君という青年が入社し、会社の中では私は若い者の教育係のようになっております。五年間みっちり教えたのですが、姉の嫁ぎ先に引き抜かれてしまいました。十五才で入社した清水君は二十一年で造園二級に合格し県下でも早い方だと思ひました。同時に入社し、十八才になりました。自衛隊へ入隊された者も二人です。今では農場での若い者二人にヒメシヤラ、マキなどの種の播き方や、野菜の種子播き、育て方を教えております。田中山農場は、高台にあり、干大根や西瓜、さつまいもなどが特産で、栗下などでも販売しております。若い者二人は、毎日が勉強だと言っております。

私は彼らがどのような青年に育つてくれるのか、また今まで預かった子供たちが立派な社会人になつてくれるであろうといつも夢と希望が絶えません。

受章者紹介

前会長であり、現在も協会の相談役として協会運営に御指導いただいている植松哲夫氏が平成十二年春の叙勲で、勲五等双光旭日章警察管理運営功労の栄誉に浴されました。おめでとうございます。紹介の遅れたことをお詫びします。

また、(株)植松造園建設の植松静夫氏が県優秀施工者知事顕彰を受け、十一月二十日、県社会福祉会館で表彰されました。おめでとうございます。



植松哲夫氏

【功労概要】

静岡県公安委員として昭和五十五年七月から六十二年七月まで二期六年間務め上げ、



植松静夫氏

【功績概要】

このうち、二年間を静岡県公安委員長の重責を務められた。この間、各種重大事件、災害時案等に際し、県警察を適正に管理して多くの成果を上げ、警察運営に貢献された。警察功労以外にも我々造園警察協会会長として、昭和六十六年度から平成九年度までの六期十二年間造園建設業界の発展に寄与され、また、木材産業界、福祉の世界で多くの役職に就き功績を残されている。

造園工事のみでなく、土木その他の工事も含めた現場代理人、主任監理技術者として愛鷹広域都市公園工事、沼津御用邸記念公園工事、八幡原線重点街路整備工事、都市公園片浜北公園工事等において、その技術を如何にか発揮し、すばらしい成果を納めている。

特に愛鷹運動公園ではホテルの保全のため夜間照明と園路の植栽に創意工夫をされ、ホタル研究会より好評を得た。

